

資料3

令和7年度事業計画案について

令和7年1月31日
岡山県県民生活部国際課

ロードマップ（令和6～8年度）

取組		スケジュール			
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	
推進体制の整備	総合調整会議の設置	年2回開催			
	専門コーディネーターの配置	総括コーディネーターの配置			
		地域日本語教育コーディネーターの配置			
	日本語学習サポーターオンライン交流会	年4回程度開催			
空白地域の解消	日本語教室モデル事業	やさしい日本語交流会	サポーター初期研修	プレ教室	
		モデル教室開設			モデル教室継続 (市町村による自走運営)
	オンラインによる日本語講座	やさしい日本語交流会	サポーター初期研修	プレ教室	モデル教室開設
			準備・検討	試行	オンライン講座開講
既存教室の支援等	日本語講座(岡山国際交流センター)	週5回開講			
	日本語ボランティアスキルアップ研修会	年1回開催			
	子ども日本語学習サポーター事業	研修会を開催(年1回)、小・中学校へ登録者を派遣			
	日本語学習リソースコーナー	日本語学習リソースコーナーの運営			

① 推進体制の整備

地域の関係機関・関係者とのネットワークを形成し、地域全体で日本語教育を推進するための体制を整備する。

取組 概要	スケジュール		
	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
<p>総合調整会議の開催</p> <p>様々な分野の有識者から構成される総合調整会議を設置し、効果的な事業実施のための意見聴取や地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育推進施策の協議を行う。</p>	年2回開催		最終評価
<p>専門コーディネーターの配置</p> <p>本事業全体をコーディネートする役割を担う総括コーディネーターと主として日本語教室モデル事業を担当する地域日本語教育コーディネーターを岡山県国際交流協会に配置する。</p>	総括コーディネーターの配置		
	地域日本語教育コーディネーターの配置		
	公募	2名配置	それぞれモデル地域を担当
<p>日本語学習サポーターオンライン交流会</p> <p>県内の日本語教室や日本語学習サポーターを対象にオンライン交流会を開催し、関係者間のネットワークづくりを図るとともに、現況や課題等の情報交換を行う。</p>	年4回程度開催		輪を広げるとともに、関係を強化

② 空白地域の解消

空白地域の解消を目指し、誰もが身近な場所で生活に必要な日本語能力を習得できる日本語学習環境を整備する。

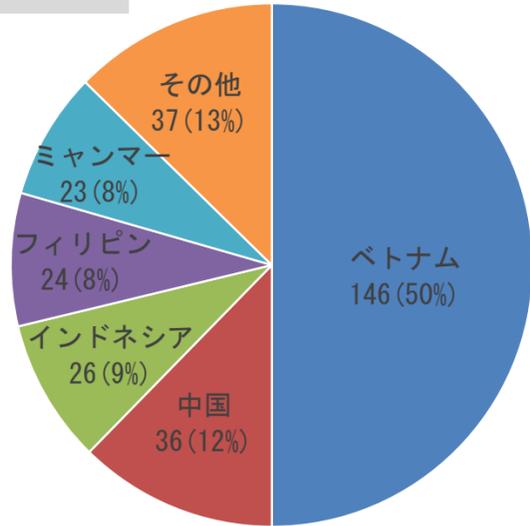
取組概要	地域	スケジュール				
		令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度		
日本語教室モデル事業 空白地域の解消を目指し、市町村等の地域関係機関との連携の下、地域の日本語教育を担う人材の育成から日本語教室の開設まで一体的に実施し、地域や外国人のニーズに応じた日本語教育を行うとともに、成果の県内展開を図る。なお、モデル日本語教室は開設2年目から間接補助を活用した市町村による運営へ移行する。	赤磐市	やさしい日本語交流会	サポーター初期研修	プレ教室	モデル教室の開設	モデル教室の継続 (市町村による自走運営)
		外国人支援の 関心醸成 事業の周知	モデル教室の 担い手育成	課題の把握 教室開設の 準備・検討	年間を通じてモデル教室を運営 市町村運営に向けた準備・検討	間接補助やコーディネーター派遣等の 後方支援
オンラインによる日本語講座 移動手段を持たない、仕事や子育てで時間がない等、教室へ通うことが困難な方にも柔軟な学習機会を確保するため、日本語講座をオンラインで受講できる環境を整備する。	吉備中央町		やさしい日本語交流会	サポーター初期研修	プレ教室	モデル教室の開設
			外国人支援の 関心醸成 事業の周知	モデル教室の 担い手育成	課題の把握 教室開設の 準備・検討	年間を通じてモデル教室を運営 市町村運営に向けた準備・検討
	全県 (オンライン)		準備・検討	試行	オンライン講座の開講	
		他県で実施している オンライン教室を見学	カリキュラム等の 検討 試行準備	課題の把握 開講の準備・検討	年間を通じてオンライン講座を開講	

吉備中央町でモデル事業を実施する理由

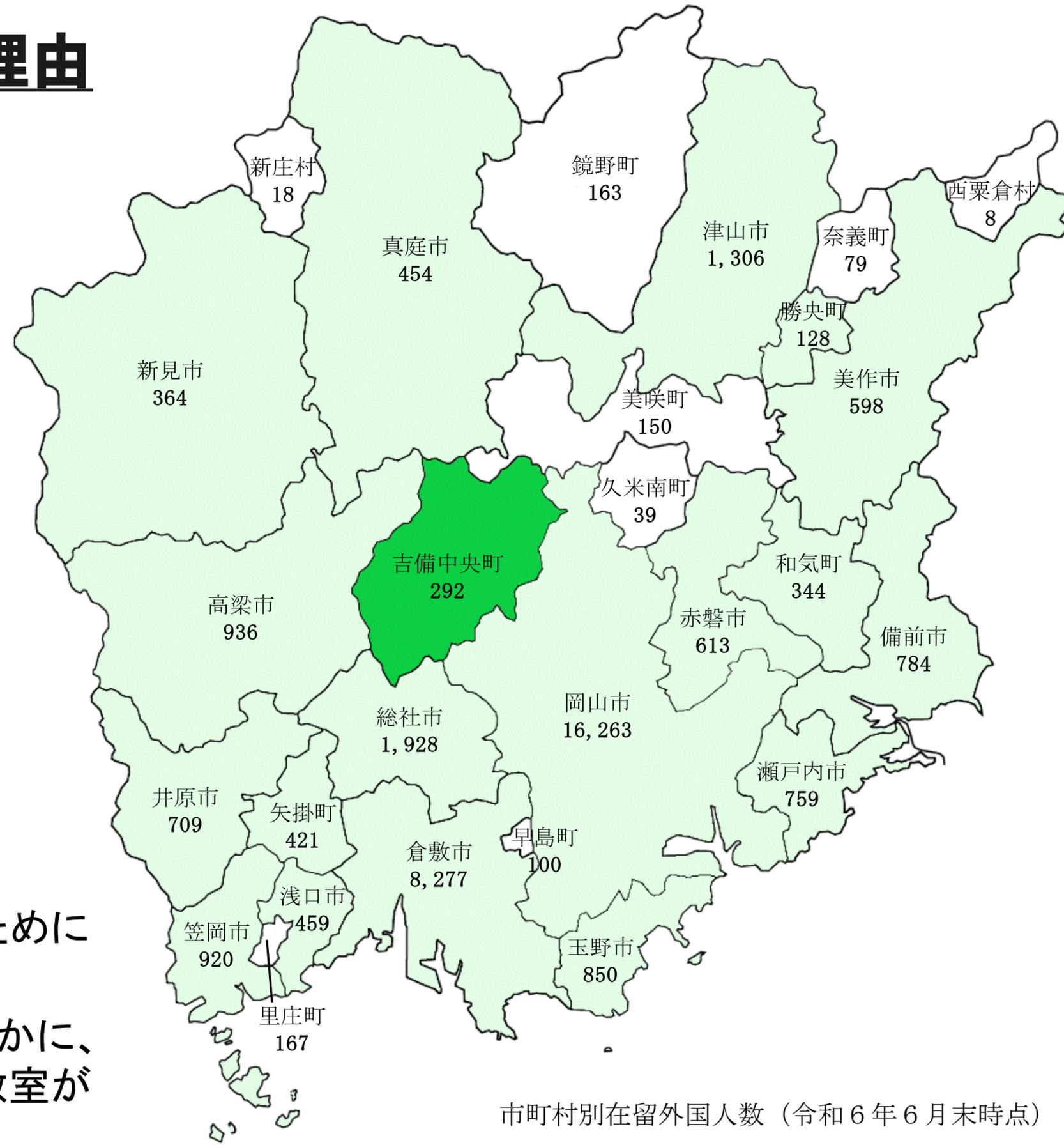
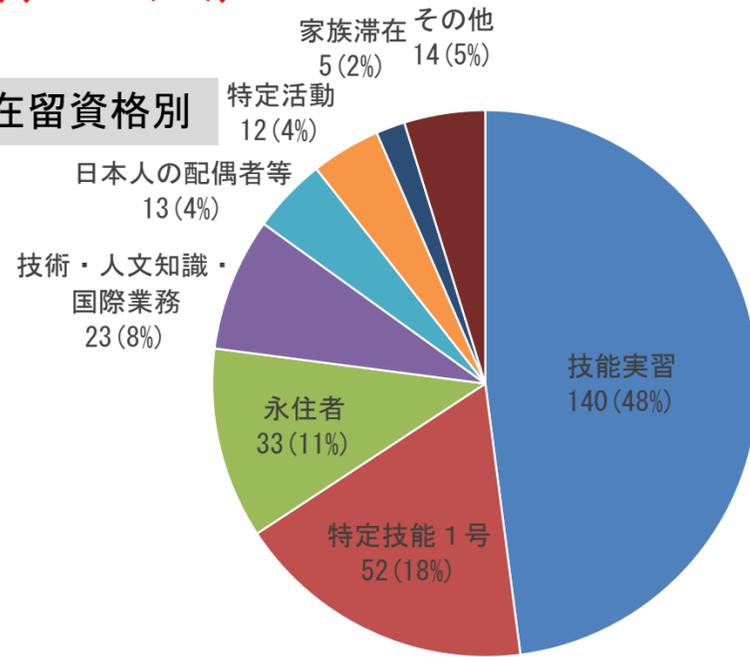
✓ 県内空白地域(赤磐市除く)のうち

最多の在留外国人数(292人)

国籍別



在留資格別



市町村別在留外国人数 (令和6年6月末時点)

✓ 町が独自にアンケート調査を実施し、

日本語教育のニーズを把握

- ▶ 日本語の学習意欲の高い人が多く、生活や仕事のために独学で日本語を学んでいる人が多い。
- ▶ 日本語を学ぶための環境として、時間的な余裕のほかに、「無料の日本語教室があれば学びたい」、「日本語教室が近くにあれば学びたい」という回答が多い。

③ 既存教室の活動支援等

岡山国際交流センターを中心として、地域日本語教育が継続的かつ安定的に実践される環境を強化する。

取組 概要	スケジュール		
	令和 6 (2024)年度	令和 7 (2025)年度	令和 8 (2026)年度
<p>日本語講座（岡山国際交流センター）</p> <p>岡山国際交流センターで、在住外国人を対象とした日本語講座を開講し、日本語学習の機会を提供する。</p>		<p>在住外国人を対象として、週 5 回（火・水・木・金・土）開催</p>	
<p>日本語ボランティアスキルアップ研修会</p> <p>地域日本語教室の担い手である日本語学習サポーターのスキルアップ研修を実施し、県内日本語教育の質の確保・向上を図る。</p>		<p>県内の日本語ボランティア活動者を対象に研修会を実施（年 1 回）</p>	
<p>子ども日本語学習サポーター事業</p> <p>日本語学習支援が必要な子どもの日本語学習を支援する「子ども日本語学習サポーター」を養成するための研修を行うとともに、学校からの依頼を受けて登録者を派遣し、日本語学習の支援を行う。</p>		<p>子ども日本語学習サポーター研修会（年 1 回） 県内小中学校へサポーター登録者を派遣（通年）</p>	
<p>日本語学習リソースコーナー</p> <p>日本語学習者及び日本語指導者向けの教材、参考書などの貸出し等を行う日本語学習リソースコーナーの運営を行い、県内の日本語教育環境の充実を図る。</p>		<p>日本語学習リソースコーナーをセンター 4 階図書資料室内で運営</p>	